

令和7年度 千曲市立更級小学校 グランドデザイン

〔学校教育目標〕 目を上げ 手を組み たくましく進む子



本校の象徴
「騎馬戦の像」
冠着山を臨み、健康な子どもたちが騎馬を組み協力一致して、心を高くもち前進する姿

更級小学校152年目のスタート!

児童の実態

- 学習に真面目に取り組む子ども。
- 自ら考え行動することに自信が足りず、指示を待つ傾向がある子ども。
- 自分の考えを素直に表現できる子ども。
- 友と伝え合ったり、わかりやすく説明したりすることに苦手意識をもつ子ども。
- ふるさと学習に親しみをもって取り組み、「さらしな」を大切にして学ぶ子ども。

願う子どもの姿

自ら考え 自ら学ぶ子ども
他を思いやり 支え合う子ども
ねばり強く最後まで取り組む子ども
身体を鍛え 自ら動く子ども
「さらしな」に誇りをもって生きる子ども

保護者・地域の願い

- 心優しく、豊かな想像力に満ち、生きる道を切り拓くたくましい子ども。
- 学校行事を通して、自らの思いを表現する子ども。
- 読書や運動、ICT 機器を使った学習に取り組む、自らを磨く子ども。
- ふるさと「さらしな」に誇りを持ち、「さらしな」に学び、生きる子ども。

もっと

〔本年度の重点目標〕 自己有用感を高め合い、他者と共に生きる学校

～仲間と共に「もっとまなびあい」、お互いの良さを「もっとわかりあい」、「ありがとう!」がもっと飛び交う学校づくり～

〔重点目標の具現に向けた具体的な取り組み〕

目を上げ行動できる子 【もっとまなびあい】(知識・技能)	手を組み行動できる子 【もっとわかりあい】(思考・判断・表現力等)	たくましく行動できる子 【ありがとう!】(学びに向かう力・人間性等)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面に応じて、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を柔軟に展開する授業を実践する。 ○ 「ふりかえりアンケート」を活用して、常に自身の授業を改善しながら基礎・基本の定着を図ると共に、思考力・判断力・表現力等のさらなる育成をめざす。 ○ 教科や単元、学習内容等に応じて、ICT 機器を有効的・効果的に活用する。 ○ 3分間マラソンやなわとびを継続し、心身の成長を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと学習を積極的に推進しながら、地域のかかわりを今以上に深める。 ○ 運動会・音楽会・縄文まつり等の各種行事へ主体的に参加することを通して、自分や友達の良さを積極的に見つける。 ○ 俳句・詩・作文や図工作品の制作、および運動表現や音楽表現等の活動を通して、自らの思いを積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の居場所があり、安心して生活できたり、学習に取り組めたりする学級集団をつくる。 ○ 友との「まなびあい」や「かかわりあい」を通して、子ども自らが「誰かの役に立てた」という自己有用感を味わえるようにする。 ○ 姉妹学級・たてわり班・児童会等の活動を通して、「他者とのふれあい」を積極的に進め、楽しみながら心を通わせ合う人間関係づくりをすすめる。 ○ 学校生活や地域での活動を通して、地域の人やモノとかかわりながら、ふるさとに感謝する気持ちを育む。

学校を取り巻く環境

- ◆ 1人1台のパソコン・プロジェクター等ICT機器の活用
- ◆ 冠着山・千曲川・棚田「豊かな自然」・堂の山
- ◆ 縄文まつり・古代体験パーク・佐良志奈神社・円光房遺跡 姨捨伝説「古よりの文化」【日本遺産『月の都 千曲』】
- ◆ 地元に根差した商店・企業・工場
- ◆ 「更級の子どもは更級で育てる」協力的な地域の人々
- ◆ 少子化による児童数の減少

地域とともに「さらしな」の未来を拓く学校

～新たな「更級コミュニティスクール」への取り組み～

- ◆ 地域の方と子どもたちが協働的に学ぶ『さらしな楽校』
- ◆ 更級小PTA・コネット更級・育成会・放課後子ども教室・さらしなの里友の会・子どもの安全を守る会・名月会・さらしなルネサンス・学校支援ボランティア・更級地区の商工会・農家・企業との連携
- ◆ 地域の諸行事等への参加と協力『縄文まつり』
- ◆ 学校だよりやホームページ、H&Sによる情報伝達

〔全校研究テーマ〕「まなびあい」で育む 確かな力の育成

学びを支える「授業づくり」

- * 多様な考えをもつ他者との対話やかかわりの中で、自らの思いや考えを表現する力を育むための「まなびあい」(協働的な学び)をおこなう。
- * 多様な子どもたち一人ひとりの学びを保障し、資質・能力の伸長を図るため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざす。
- * 「全国学力学習状況調査」や「ベネッセ学力調査」の結果を基に、伸びている分野や改善を要する分野を分析し、「共有課題」を確認する。
- * 「授業のふり振り返りアンケート」を活用し、授業評価の結果を子どもと共有しながら、授業改善の取り組みを積極的に進める。1学期に「ふり振り返りアンケート月間」を位置づけて結果を分析し、2学期は成果や課題をふまえた授業改善に努める。
- * 図書館教育を充実させ、図書館を積極的に活用した授業実践に取り組む。(北信地区図書館教育研究大会に向けて)

学びを支える「学級づくり」

- * 学級や学習集団の現状を観察・把握し、1年後に願う子どもの姿を描いた「さらしなプラン」を作成して、年間を見通した活動をすすめる。
- * 「Q-U」を活用して願う姿の実現に向けた活動の成果や課題を客観的に把握し、結果を子どもたちと共有しながら話し合い、よりよい学級(学習)集団づくりに活かす。